

# はじめてのDX

## 江戸川区中小企業DX応援隊ガイドライン

なぜ今、DX(デジタルトランスフォーメーション)が求められているのでしょうか。

導入により、どのような利点・効果があるのでしょうか。

DXが必要な背景から、導入に向けた心がまえまで、わかりやすく紹介します。

## そもそも「DX」とは？



DX(デジタルトランスフォーメーション)とは  
企業の経営課題解決を目的として、デジタル技術等を活用し、  
新たな企業の価値を生み出すことです。

単に日々の業務をIT化することではなく、  
長期的なビジネス環境の変化を見据え、  
データとデジタル技術を活用し、顧客の目線で業務形態や  
サービス形態そのものを見直すこと。  
さらには過去の慣例から脱却し、経営方針や社内の風土、  
価値観まで変えてしまうのがDXです。

# 中小企業DXにおける 導入事例



# 中小企業DXにおける導入事例

企業間の連携を促す  
基盤システムの構築で生産性アップ  
(精密部品加工業)

配車や人員配置をクラウドで一元管理し、  
業務を最適化  
(一般貨物自動車運送業)

データを武器に  
加工ソリューション企業へ変身  
(機械加工業)

油圧の修理屋が検査システムを開発する  
AIカンパニーへ  
(油圧メンテナンス業)

製造現場の課題に精通したエンジニアが  
DX製品を開発  
(自動車部品製造業)

ITコーディネーターが伴走し  
DX戦略を経営の柱に  
(電気機械器具製造業)



## 課題とビジョン

生産性と賃金が上がらない状況を打開し、地域や顧客、従業員に選ばれる会社になる。



## 5～10年後の目標

生産性を30%アップさせその結果、従業員の可処分所得を3%向上させる。



## 具体的な対策

基盤システムを刷新し、IT人材の確保、業務フローや組織体制の変革、意識改革を推進。



## 成果

産学間連携で新たなシステムプラットフォームを開発し、地域の企業間でデータ基盤を共有することで生産性向上を実現。

企業間の連携を促す  
基盤システムの構築で生産性アップ  
(精密部品加工業)

配車や人員配置をクラウドで一元管理し、  
業務を最適化  
(一般貨物自動車運送業)

データを武器に  
加工ソリューション企業へ変身  
(機械加工業)

油圧の修理屋が検査システムを開発する  
AIカンパニーへ  
(油圧メンテナンス業)

製造現場の課題に精通したエンジニアが  
DX製品を開発  
(自動車部品製造業)

ITコーディネーターが伴走し  
DX戦略を経営の柱に  
(電気機械器具製造業)



## 課題とビジョン

作業担当の属人化やブラックボックス化など、業務に対する課題を解消し、ITに対する意識改革。



## 5～10年後の目標

IT経営の専門家との対話を通じて、経営ビジョンを明確化。九州全域をカバーすることを目指す。



## 具体的な対策

業務継続の危機を実感し、基幹のある業務プロセス全体のクラウドシステムへの切り替えを実施。



## 成果

システム上で人員や機材配置の一覧化に成功。受注のスムーズ化や拠点間の融通など業務を最適化し、生産性が向上した。

# 中小企業DXにおける導入事例

企業間の連携を促す  
基盤システムの構築で生産性アップ  
(精密部品加工業)

配車や人員配置をクラウドで一元管理し、  
業務を最適化  
(一般貨物自動車運送業)

データを武器に  
加工ソリューション企業へ変身  
(機械加工業)

油圧の修理屋が検査システムを開発する  
AIカンパニーへ  
(油圧メンテナンス業)

製造現場の課題に精通したエンジニアが  
DX製品を開発  
(自動車部品製造業)

ITコーディネーターが伴走し  
DX戦略を経営の柱に  
(電気機械器具製造業)



## 課題とビジョン

業界にイノベーションを起こすことを掲げ、自らが市場を開拓できるビジネスモデルへ転換する。



## 5～10年後の目標

現場の課題を解決し、「面白い、わくわくする機械加工」として、日本のものづくりに貢献。



## 具体的な対策

課題解決のために自社が発案した機械加工のDX支援サービスを、人材派遣や外部との橋渡しとして提供する。



## 成果

DX支援サービスによる業界の最適化支援を通じ、ものづくりを担う人材を、自社及びクライアントの現場で育てることに成功。

企業間の連携を促す  
基盤システムの構築で生産性アップ  
(精密部品加工業)

配車や人員配置をクラウドで一元管理し、  
業務を最適化  
(一般貨物自動車運送業)

データを武器に  
加工ソリューション企業へ変身  
(機械加工業)

油圧の修理屋が検査システムを開発する  
AIカンパニーへ  
(油圧メンテナンス業)

製造現場の課題に精通したエンジニアが  
DX製品を開発  
(自動車部品製造業)

ITコーディネーターが伴走し  
DX戦略を経営の柱に  
(電気機械器具製造業)



## 課題とビジョン

業界の衰退を防ぎ、人やもの、設備の存在価値を高めることで、豊かな社会実現に貢献する。



## 5～10年後の目標

独自のAI外観検査システムを開発し、低コストでの導入を実現。収益の柱へと成長させる。



## 具体的な対策

売上の10%を新規事業へと投資し、海外の人材や産官学との連携、外部人材を積極的に活用。



## 成果

中小製造業の外観検査において、デジタル化の推進に貢献。顧客自身がデータを蓄積することで、若手人材の育成が可能になった。

# 中小企業DXにおける導入事例

企業間の連携を促す  
基盤システムの構築で生産性アップ  
(精密部品加工業)

配車や人員配置をクラウドで一元管理し、  
業務を最適化  
(一般貨物自動車運送業)

データを武器に  
加工ソリューション企業へ変身  
(機械加工業)

油圧の修理屋が検査システムを開発する  
AIカンパニーへ  
(油圧メンテナンス業)

製造現場の課題に精通したエンジニアが  
DX製品を開発  
(自動車部品製造業)

ITコーディネーターが伴走し  
DX戦略を経営の柱に  
(電気機械器具製造業)



## 課題とビジョン

業界の変革を迫られている危機を  
打開し、技術の深化をベースに日  
本のものづくりをサポート。



## 5～10年後の目標

これまで培ったノウハウに、最新技  
術を融合し、新しいものづくりの形  
を確立させる。



## 具体的な対策

現場の課題を理解したエンジニア  
を常駐させることで、素早い改良・  
開発を推し進める。



## 成果

情報連携を強化し、生産性や品質  
の向上を実現。このノウハウを活  
かしたDXサービスを他社へと展開  
し、業界全体のDX化推進に助力。

企業間の連携を促す  
基盤システムの構築で生産性アップ  
(精密部品加工業)

配車や人員配置をクラウドで一元管理し、  
業務を最適化  
(一般貨物自動車運送業)

データを武器に  
加工ソリューション企業へ変身  
(機械加工業)

油圧の修理屋が検査システムを開発する  
AIカンパニーへ  
(油圧メンテナンス業)

製造現場の課題に精通したエンジニアが  
DX製品を開発  
(自動車部品製造業)

ITコーディネーターが伴走し  
DX戦略を経営の柱に  
(電気機械器具製造業)



## 課題とビジョン

デジタル技術の進化の速さに対応  
し、ものづくりの環境変化を社内一  
丸となって解決する。



## 5～10年後の目標

ITコーディネーターを通じて課題  
を明確化。変圧器や半導体製造機  
を「人の手を介するものづくり」で  
製造し、世界のインフラを支える唯  
一無二の企業を目指す。



## 具体的な対策

DX委員会を設立し、経営面での課  
題をデータに基づき判断。バックオ  
フィスの最適化で解決し、生産効率  
を向上。



## 成果

DX認定の取得やITC協会での最  
優秀賞を受賞。DXモデルとして、日  
本のものづくり企業の模範となる  
動きを実現する。

# DX導入に向けた手順



# DX導入に向けた手順



## STEP1 ご相談

まずはホームページのお問合せフォームからご連絡。事務局より面談日程などのご連絡を差し上げます。



## STEP2 支援相談内容ヒアリング

応援隊事務局よりヒアリングシートをお送りし、貴社のご相談内容や基本情報を伺います。



## STEP3 アドバイザーによる初期診断

お問合せ内容を基にDXやITの導入の現状、ご要望、想定予算、想定している補助金、導入までの期間などを詳細を確認します。



## STEP4 アドバイザーと課題の洗い出し

初期診断をもとに貴社が抱える課題をアドバイザーと一緒に洗い出します。



## STEP5 DX・IT導入の方針を決定

様々な課題に対して、どのようにDX、ITで解決していくか、アドバイザーが貴社と一緒に方針を検討します。



## STEP6 ITツールやベンダーの選定・導入サポート

貴社に最適なITツールやベンダーの選定・導入についてアドバイザーがサポートします。



## STEP7 導入後のアドバイス

ITツール導入後、適切に運用されているかヒアリングし、必要に応じてアドバイスを行います。



# よくある悩みと 解決に向けた考え方



# よくある悩みと解決に向けた考え方



## 既存システムの不具合に 対応できない

既存システムの中の一部機能が廃止となり、すぐに代替手段が必要だが、適切な進め方が分からない。



## ✔ 問題点の洗い出しと対応策の選定

解決すべき問題を洗い出し、ブラックボックス化している業務を可視化して理想の業務フローを描き、システムの選定と導入への対応を行います。



## 複数のシステムによる混乱

勤怠管理システムの導入を機に給与計算システム、財務会計システムも更新したいが、どこから手を付ければ良いか分からない。



## ✔ 一体化により効率アップ!

勤怠管理と給与計算は一体型のシステムを導入することで業務を効率化できる! 会計システムは税理士と相談の上、解決法を検討。



## 人材・ノウハウ不足

デジタル技術に詳しい人がいない。本当に必要なスキルや経験を持つ人材がいない。



## ✔ 解決策は企業によって様々

広く取り組まれていることとして、社内でIT人材の教育体制を整える、新しくIT人材を採用する、外部専門業者に支援・委託を依頼する等ありますが、どの手段も経営者自身、もしくは社内スタッフがITの利便性・必要性を理解する姿勢が重要です。自社に合う解決策を探りましょう。



## 技術・ノウハウの継承

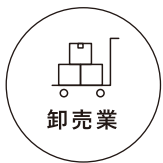
今まで積み重ねてきたノウハウを次世代に継承する方法が分からない。



## ✔ ナレッジ共有方法の確立!

知識・技術やノウハウといったナレッジを社内で共有し、ベテラン社員が培ってきた知識や経験を、ツールを活用して共有・利用できるようにすることが重要。

# 業種別DXのポイント



# 業種別DXのポイント



## 製造業

### 主な課題

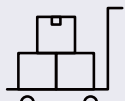
- 紙の帳票への作業記録の手間、および保管コストの増加
- トレーサビリティの厳格化に伴う管理負担の増加
- 自社商品の開発による下請け体質からの脱却・新規取引先の開拓
- 人材不足・技術の継承

### DXのポイント

- ✓ 帳票のデジタル化・クラウド化により、作業負担およびミスの軽減
- ✓ センサやAIカメラによる稼働状況の自動管理による人員配置の最適化
- ✓ 工程管理ツールや自動検品システムなどの開発、商品化
- ✓ 作業工程のデータ化・映像化により人材育成および技術継承を効率化

### 企業文化の変革

- ★ペーパーレス化に伴う環境意識の改善
- ★リモートワークの促進により多様な人材が活躍
- ★新規事業への意欲向上



## 卸売業

### 主な課題

- FAXでの受発注管理による手間やヒューマンエラーの発生
- 発注元による独自の発注表現による負担増加

### DXのポイント

- ✓ 受発注管理のデジタル化による、作業時間やミスの軽減
- ✓ デジタル管理による、クライアントとの正確な情報共有
- ✓ データ分析による、業務スピード・正確性の向上

### 企業文化の変革

- ★BtoCなどの新規事業への展開を実現
- ★社員のワークライフバランスの向上による、新規人材の確保

# 業種別DXのポイント



## 物流業

### 主な課題

- 多数の配達員の管理コストの増加
- 受注データの手動入力に伴うミスが発生

### DXのポイント

- ✓デジタル管理による配達計画の最適化
- ✓運搬中の荷物のリアルタイム管理で稼働状況の一括管理
- ✓帳票の自動入力による、正確な受注出荷管理

### 企業文化の変革

- ★通常業務最適化に伴う遅延や誤記軽減で顧客満足度の向上
- ★社員の他業務への積極的な参加



## 介護業

### 主な課題4

- 人材不足による、1スタッフに対する負担増加
- 未経験者や外国人労働者の採用実績の不足
- 事故などにおける、証拠に基づいたサービスの透明化

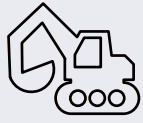
### DXのポイント

- ✓見守りカメラの導入でスタッフの負担軽減
- ✓ウェアラブル端末による利用者のデータ取得
- ✓録画データによるスタッフの育成

### 企業文化の変革

- ★デジタル化による利用者満足度の高い施設への成長
- ★スタッフ満足度向上に伴う離職率の低下

# 業種別DXのポイント



## 建設業

### 主な課題

- 技術不足や生産過程の細分化による生産性の低下
- 人材の高齢化に伴う作業負担の増加
- 人材不足・技術の伝承

### DXのポイント

- ✓ 建物情報の3Dモデル化やクラウド化に伴う情報共有の正確性の向上
- ✓ 画像認識やセンサーの導入による事故やミスの軽減
- ✓ ロボット導入で危険な作業の代替え
- ✓ 作業工程のデータ化・映像化により、人材育成および技術継承の効率化

### 企業文化の変革

- ★怪我リスクの軽減による、業界意識の変革
- ★エンジニアなどの新規人材の開拓

# はじめてのDX

## 江戸川区中小企業DX応援隊ガイドライン

編集・発行者名	江戸川区中小企業DX応援隊 ・江戸川区 ・日本コンベンションサービス株式会社
発行年月	2024年1月25日
連絡先	江戸川区 産業経済部経営支援課相談係 〒132-8501 江戸川区中央1-4-1 tel.03-5662-0525

本書の内容を転載、複製、改変することは禁止いたします。  
ただし、DX導入に向けて社内で活用することを目的とする場合は、複製を許可します。